

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 5 月 9 日 (2019.5.9)

【公開番号】特開 2017-164159 (P2017-164159A)

【公開日】平成 29 年 9 月 21 日 (2017.9.21)

【年通号数】公開・登録公報 2017-036

【出願番号】特願 2016-50767 (P2016-50767)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成 31 年 3 月 25 日 (2019.3.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

後方からの光を前方に透過する透過性を有し、画像を表示する画像表示部材と、
前記画像表示部材の後方に位置し、後方を視認可能にする視認可能状態と、前記視認可能状態よりも後方を視認困難な状態にする視認困難状態とを、電氣的に切り換える透過部材と、

前記透過部材よりも後方に位置する透過表示される対象と、

前記透過部材が前記視認可能状態の期間に、

前記画像表示部材の画像表示領域のうち少なくとも一部の領域に非透過画像を表示させる非透過画像制御と、

前記画像表示部材の画像表示領域のうち少なくとも前記透過表示される対象を見せる領域に透過画像を表示させる透過画像制御と、

を切り換える制御切換手段と、

を備えることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

請求項 1 に記載する遊技機において、

前記透過表示される対象は特定の形状を有するものであり、

初期位置となる第 1 位置から、動作位置となる第 2 位置に変位可能な可動体である、

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 3】

請求項 1 又は請求項 2 に記載する遊技機において、

前記透過画像は、前記透過表示される対象の形状を模した画像である、

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 4】

請求項 1 から請求項 3 のいずれかに記載する遊技機において、

前記透過部材が視認可能状態の期間に、

前記画像表示部材の画像表示領域のうち少なくとも一部の領域に非透過画像を表示させる非透過画像制御と、

前記画像表示部材の画像表示領域のうち少なくとも前記透過表示される対象を見せる領域に透過画像制御と、

を所定のタイミングで交互に切り換える交互切り換え演出を実行することにより、大当たりの期待度を示唆可能に構成されている、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００８】

本発明の遊技機は、

後方からの光を前方に透過する透過性を有し、画像を表示する画像表示部材と、

後方からの光を前方に透過する透過性を有し、画像を表示する画像表示部材と、

前記画像表示部材の後方に位置し、後方を視認可能にする視認可能状態と、前記視認可能状態よりも後方を視認困難な状態にする視認困難状態とを、電氣的に切り換える透過部材と、

前記透過部材よりも後方に位置する透過表示される対象と、

前記透過部材が前記視認可能状態の期間に、

前記画像表示部材の画像表示領域のうち少なくとも一部の領域に非透過画像を表示させる非透過画像制御と、

前記画像表示部材の画像表示領域のうち少なくとも前記透過表示される対象を見せる領域に透過画像を表示させる透過画像制御と、

を切り換える制御切換手段と、

を備えることを特徴とする遊技機である。